



令和8年5月、小樽と札幌へ行って来ました。当初は弾丸日帰り旅の第3弾として札幌日帰りを計画したのですが、前から小樽に一度行ってみたいかったと家内からの要望があり、今回は小樽で1泊する2日間の旅行に決めました。

今回はフジドリームエアラインズ (FDA) の名古屋小牧～札幌丘珠便を利用。ご存じない方もおられると思いますが、夏ダイヤ限定で札幌市中心から近い「丘珠(おかだま)空港」へ飛ぶ路線があるのです。今回の航空券は FDA が1月に実施したバーゲンセールで購入したもので、2人分往復で燃油サーチャージ込み4万6千800円とかなりお値打ちに利用することができました。

県営名古屋空港から飛行時間約90分で札幌丘珠空港到着。空港からの最寄駅は地下鉄東豊線栄町駅で、距離にしてわ

ずか1・3キロ。シャトルバスや路線バスで乗車時間は5分ほど。地下鉄「栄町駅」から10分ほどの乗車でJR札幌駅への乗換駅「さっぽろ駅」到着。

丘珠空港は札幌の都心に近いほどと便利な空港なのです。

JR札幌駅から函館本線の「快速エアポート」に乗って、約40分で小樽到着。小樽駅はレトロな駅舎なうえ、古い駅名板や電灯などが大切に使われているほか、4番ホームは石原裕次郎がかつてテレビ番組で降り立ったことからモニユメントもあり、「裕次郎ホーム」との愛称も付いています。

駅を出てすぐの場所に有名な「三角市場」があり、ここで海鮮丼を食べて行くこうと思っていたのですが、まだ午前10時半というのに、どの店もすでに30分以上の待ち時間になっていました。家内はもともと生魚が得意ではないので、



小樽駅の4番ホームは「裕次郎ホーム」との愛称が付いています。ここに来たらこれを見なくちゃ来た甲斐がありません。



北海道初の鉄道路線「旧手宮線」。以前は札幌以上の大都会だった小樽の繁栄をしのぶ遺構のひとつです。



今回のホテル「OMO5 小樽 by 星野リゾート」。向かって左側が「旧小樽商工会議所」を改造した南館で、ここに泊まりました。



「小樽オルゴール堂」の蒸気時計。15分おきに蒸気で「ウエストミンスターの鐘」を奏で続けていました。

野リゾートがホテルにリノベーション。建物内部は階段などがそのまま使われ、当時の面影をしのぶことができました。

を食べました。ちょっと味の濃い鶏のからあげで、なかなかおいしかったです。通り沿いには小樽が本店の「ルタオ」をはじめ、「六花亭」や「北菓

野リゾート」。ここを選んだ理由は歴史的建造物に泊まれること。わが家が予約した南館は「旧小樽商工会議所」で、星

を食べました。ちょっと味の濃い鶏のからあげで、なかなかおいしかったです。通り沿いには小樽が本店の「ルタオ」をはじめ、「六花亭」や「北菓

野リゾート」。ここを選んだ理由は歴史的建造物に泊まれること。わが家が予約した南館は「旧小樽商工会議所」で、星

を食べました。ちょっと味の濃い鶏のからあげで、なかなかおいしかったです。通り沿いには小樽が本店の「ルタオ」をはじめ、「六花亭」や「北菓

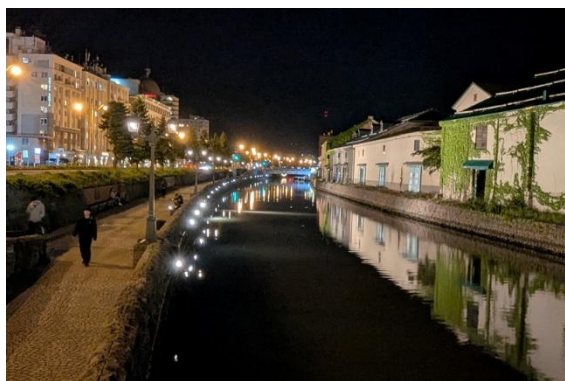
野リゾート」。ここを選んだ理由は歴史的建造物に泊まれること。わが家が予約した南館は「旧小樽商工会議所」で、星

を食べました。ちょっと味の濃い鶏のからあげで、なかなかおいしかったです。通り沿いには小樽が本店の「ルタオ」をはじめ、「六花亭」や「北菓

野リゾート」。ここを選んだ理由は歴史的建造物に泊まれること。わが家が予約した南館は「旧小樽商工会議所」で、星

を食べました。ちょっと味の濃い鶏のからあげで、なかなかおいしかったです。通り沿いには小樽が本店の「ルタオ」をはじめ、「六花亭」や「北菓

野リゾート」。ここを選んだ理由は歴史的建造物に泊まれること。わが家が予約した南館は「旧小樽商工会議所」で、星



小樽といえば「小樽運河」。昼間は観光客で賑わっていますが、夜は人通りも少なく幻想的な雰囲気を楽しめます。



ルタオ本店。最上階展望室は無料なので1階で本店限定のソフトクリーム「マリアーージュ」を購入。展望室で食べました。



札幌に着いたら真っ先に行こうと決めていた羊ヶ丘展望台。「クラーク博士像」で記念撮影しちゃいました。



「札幌大通公園」。名古屋の久屋大通公園と似ていますが、テレビ塔が赤いので公園が東西に配置されています。

翌朝、午前6時半にホテルのおいしいビュフェ朝食をいただき、午前7時半にホテル

チェックアウト。8時前の普通電車で札幌へ向かいました。

小樽を出発したときはガラガラだった車内は、札幌に近づくにつれて混雑し、途中で満員電車になりました。乗車時

間約50分で札幌駅到着。地下鉄東豊線にのりかえ終点の「福住駅」へ。昨日と今日で東

豊線全区間乗車しました。福住駅のバスターミナルから路線バスで「羊ヶ丘展望台」

へ。目的はもちろん「クラーク

博士像」で、私にしては珍しく記念撮影してきました。ここは有料施設になっていて、路線バスを降りたのちに1人千円をお支払い。名前の通り羊が放牧されているほか、チャペルやクラーク記念館、さっぽろ雪まつり資料館など

がありました。また、オーストリア館の土産物店が非常に充実していて、ここで大半の北海道みやげが揃いそうです。

1時間ほど滞在したのち、路線バスと地下鉄をのりつぎ「大通駅」下車。札幌の定番観光である「札幌時計台」や「大

赤れんが庁舎」へ。札幌は中心地にいくつも有名な観光地があり、歩いて回れるのがいいところです。おまけにJR札幌駅も徒歩圏内でした。

赤れんが庁舎の1階には喫茶やお土産コーナーがあり、その一角に「白い恋人」というスイーツラボがあって、ここで「白い恋人ソフトクリーム」を食べました。あまり濃厚ではないあっさりしたソフトクリームに「白い恋人」がトッピングされていました。札幌といえは「白い恋人」なんです。

赤れんが庁舎の1階には喫茶やお土産コーナーがあり、その一角に「白い恋人」というスイーツラボがあって、ここで「白い恋人ソフトクリーム」を食べました。あまり濃厚ではないあっさりしたソフトクリームに「白い恋人」がトッピングされていました。札幌といえは「白い恋人」なんです。



「赤れんが庁舎」。令和の改修を終えてきれいになっています。館内で「白い恋人ソフトクリーム」をいただきました。



日本3大がっかり観光地と呼ばれている「札幌時計台」ですが、それでも多くの観光客が記念撮影していました。



すすきのビルの有名な「ニッカウイスキー看板」。これも札幌の顔。本当は夜の電飾した看板が見たかったです。



「札幌ラーメン・悠(はるか)」。15分ほど並んで入りました。「みそラーメン」はまさに絶品。すごくおいしかったです。



札幌丘珠空港は小さな空港ですが、札幌市内中心部からは地下鉄と路線バスで20～30分の好立地。



用がなくても必ず市電には乗車します。札幌市電はいいことに環状路線。すすきので乗車してほぼ1周乗車しました。

この日はホテルのビュフェ朝食をがつつり食べたせいで、なかなかお腹が空かなくなったのですが、12時を過ぎてそろそろお昼ごはんを食べに行くことにしました。札幌でのお昼ごはんは「札幌ラーメン」と決めていて、すすきの有名な「ニッカウイスキー看板」のあるすすきのビルの南、元祖ラーメン横丁にある「札幌ラーメン・悠(はるか)」へ。

私は「みそラーメン」を食べました。(う)はGoogleマップやぐるなびで高評価を獲得しているだけあって、とてもおいしいみそラーメンでした。まさに絶品。家内は「こんぶとほたての塩ラーメン」を注文していて、少しもらいましたが、こちらも具のこんぶとほたてから出汁が出ていて、とてもおいしい塩ラーメンでした。

昼食後はすすきのから市電に乗車。わが家は訪れた都市に市電があると、目的がなくても必ず市電に乗車します。あの独特な雰囲気が好きなので。札幌市電はすすきのから南西に環状運転していて、用もないのに乗車するのに最適でした。外回りに乗車して

ほぼ1周し、大通公園付近の電停で下車。再び大通公園を歩いて名物の「とうきびワゴン」で、とうきび(とうきびろこし)を食べました。「焼き」と「ゆで」があり、「焼き」を食べましたが、これがめちゃくちゃ甘くておいしかったです。最後に「セイコーマート」という北海道限定のコンビニでオリジナル商品を物色。これで計画していた札幌観光をすべて終え、地下鉄と路線バスで丘珠空港へ。1泊2日の小樽・札幌旅行でしたが、実に中身の濃い旅になりました。